

国際交流員ダニエルの

KANGA  
KOURYUU

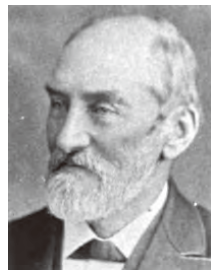
カンガ交流



## 国歌が示した「結束」の強さ

今回は、オーストラリア国歌の新たな第一歩のお話です。どうぞ楽しんで読んでくださいね。

オーストラリアの国歌「Advance Australia Fair (アドヴァンス・オーストラリア・フェア)」は、スコットランド生まれの作曲家Peter McCormick (ピーター・マコーミック) が書いた愛国主義的な歌です。初めて演奏されたのは1878年で、1984年に正式な国歌になりました。しかし、歌詞の一部が先住民への配慮に欠けるという意見もあり、オーストラリアに住むすべての人々のための国歌とするために歌詞を変えるか、または新しい歌を作るかが、現在オーストラリア中で議論されています。



▶ピーター・マコーミック

そんな中、2020年12月にシドニーのスタジアムで開催されたオーストラリア対アルゼンチンのラグビーの試合前に、世界で初めて先住民アボリジニの言葉で国歌が歌われました。歌ったのは17歳のアボリジニで、舞台芸術学生のOlivia Fox (オリビア・フォックス) さんと、ラグビーオーストラリア代表チーム「Wallabies (ワラビーズ)」の選手たち。この日の国歌斉唱に使われた言葉は、シドニーで古くから暮らしている「Eora Nation (ヨーラ族)」の言葉で、ヨーラ族とこの土地の深い

## オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Pressie" または  
"Prezzie"

読み方 「プレズィー」

意味 「プレゼント」

オーストラリア人はよく、単語の最後に「-ie」を付けるスラングを使います。プレゼントを意味する「Pressie」もその一つで、ニュージーランドやイギリスでも使われるスラングです。主に「Birthday Pressie: バースデー・プレズィー (誕生日プレゼント)」や「Christmas Pressie: クリスマス・プレズィー (クリスマス・プレゼント)」などといった形で使われます。

ながりを表現するために、歌詞を一部変えて誇らしげに歌われました。

ワラビーズの選手たちは、試合前の一週間で歌を頑張って練習したそうです。また、キャプテンのHooper (フーパー) 選手は、「チーム全員で、このような大切な機会をいただき、誠に光栄です」と発言しています。オーストラリアに住むすべての人の「結束」を示したこの国歌斉唱は、多くの人に高く評価されました。



▲アボリジニの言葉で国歌斉唱。選手たちのユニフォームは、アボリジニの伝統模様がモチーフになっています

国際交流員のダニエルと楽しく英会話!

談話

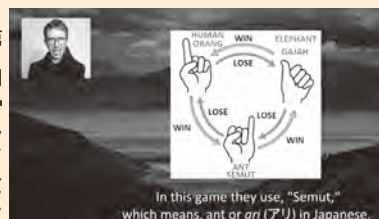
## 「ENGLISH DANWA」で英語力を身に付けよう

「ENGLISH DANWA」は、国際交流員のダニエルが YouTube で配信している、英語を勉強するための動画です。動画では、海外の文化や言語に関する話題を英語 (字幕付き) で紹介。リスニングの練習にオススメです。更新の目安は月に1回程度で、バックナンバーは町公式ホームページで確認できます。

問い合わせ 地域づくり課



▶第1回「インドネシアのジャンケン」



In this game they use, "Semut," which means, ant or arri (アリ) in Japanese.